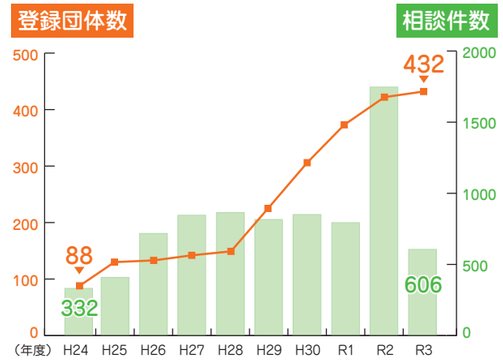
つながる、広がる、元気になる

市民協働センター 登録団体は約 5 倍に



市は、アオーレ誕生後すぐの平成24年６月に市民協働条例を制定。市民一人ひとりが主役となる“協働によるまちづくり”を進めてきました。その中心となり、人や活動を支え、つないできたのがアオーレにある「市民協働センター」です。

「市内でこんな活動している団体ある？」「アオーレでこんなことがやりたい」など、センターに寄せられたさまざまな相談に、２つのＮＰＯ法人が応えてきました。そこで奮闘してきたスタッフや関係した市民団体に、活動への想いや今後の抱負を聞きました。

ＮＰＯ法人ながおか未来創造ネットワーク運営リーダー
木口 信雄さん

アオーレ誕生からこれまで、施設管理やイベントの運営に携わる。イベント成功の裏側にはいつもこの人が。

「一緒に悩み、一緒に喜ぶ」を原動力にこれからも

10年間で携わったイベントの中で、思い出深いものの一つが、児童たちが頑張っていた「はなはすプロジェクト」です。児童が中之島の特産であるれんこんを多くの人に知ってもらいたいと、アオーレでれんこんの花を飾ったのが始まりです。「今度はれんこん料理のレシピを配りたい」「れんこんを販売したい」とどんどん高まる子どもたちの想いに寄り添い、学校と協力し活動を広げるお手伝いができました。

「一緒に悩み、一緒に喜ぶ」ことが、私の原動力です。アオーレを使ってくれる人たちの熱い想いを待っています！

アオーレでの披露を目標に

上通小学校
「はなはす・れんこん・かみどおりプロジェクト」

児童の地域への理解や発信力などを養うため、平成25年度から全学年で取り組む。れんこん生産組合と連携し、花蓮展示やれんこん販売などをアオーレで行う。

アオーレは絶好の発表の場 子どもたちにとって多くの刺激に

市内外から人が集まるアオーレで大口れんこんや花蓮をPRすると、さまざまな反応があります。子どもたちの伝える力が養われるだけでなく、たくさんの人とのコミュニケーションを通じて、喜びも２倍、３倍に膨らんでいるようです。アオーレで行う７月の花蓮展示や11月のれんこん販売に向けて、子どもたちも一生懸命頑張っています。

校長　笠井 猛雄さん

これからのまちづくりのヒントを探る

開館10周年記念対談

長岡市長 **磯田 達伸** × アオーレの設計者 **隈 研吾**さん

４月10日に開催したアオーレ10周年オープニングイベントで対談を行いました。これからのまちづくりへのヒントとなるフレーズをご紹介します。

▶対談や隈さんの講演会の映像はこちら

建築家を目指して、この春から勉強を始めました。幼い頃、祖父と散歩でよくアオーレに来ていたんです。隈さんの「まちを実際に歩くことで、学べることがある」という言葉にすごく共感しました。もっと長岡のまちに飛び出して、人との出会いや新しい体験を楽しんでいきたいです！

対談を聞いた　梶山 雄斗さん（大学1年生）

若者がまちに出るとまちが元気になる

情報交換の場を地域へ広げたい

アオーレは多くの市民に愛され親しまれています。ここを拠点に市民活動が盛んになった

人が集まりたくなる、話したくなる空間になっている。それは本当にうれしいことですね

人に刺激や挑戦の力も与えてくれています。今ではイノベーション関係の人もたくさん訪れる

技術ばかりに目がいきがちですが、イノベーションにも顔を合わせたコミュニケーションが大切です

長岡のイノベーションの土台には、4大学1高専が集まるという恵まれた環境があります

学校や若者が集まると、まちの発展につながると世界中で言われています。人がまちに出ることでまちが元気になる。まちを歩いたからこそ得られる情報もあります。若者にはぜひ、まちに出て遊んでほしい

多くの人が集まり、情報交換が生まれるアオーレのような場を、地域へ広げていきたいです

協働センターでの出会い

ひだまりハウス代表
小西 美樹さん（写真左）

活動を始めて今年で４年目。２カ月に１回、障がい児を持つ家族向けに情報交換会などを行う。

NPO法人市民協働ネットワーク長岡
伊佐 恵理さん（右）

“二人三脚”で歩んできたそのおかげで今がある

小西　結婚を機に出雲崎から長岡に来ました。障がい児がいる家庭がもっと暮らしやすい環境をつくりたいと「ひだまりハウス」を立ち上げました。活動を始めた当初は、何から始めればよいのかもわからず、本当に苦労しました。そんな時、知人に市民協働センターを紹介してもらい、相談に乗ってくれたのが伊佐さんでした。伊佐さんは活動の目的や理想をすぐに理解してくれ、一緒に悩み考えてくれました。時に厳しく、時に友人のように。今でも活動をより良くするために定期的に相談しています。こうした存在が長岡にいるから、私たちは安心して活動できるんです。

伊佐　最初に相談を受けたときから、小西さんのまっすぐな想いにひかれ、少しでもそれを形にする手伝いができればと考えていました。私もまだまだ経験が浅かったので、小西さんから力をもらい、一緒に学ばせてもらいながら成長することができたと感謝しています。“共に汗をかく”ことを忘れずに、これからも頑張っていきます！

アオーレに拠点があることが長岡の大きな強み

誰もが気軽に立ち寄れるアオーレに相談拠点があることは、長岡の大きな強みになっています。センターには多くの人が訪れ、地域で活動している人たちの顔が見えるようになりました。今では高校生の団体がふらっと遊びに来ることも。“人や情報が集まる”ことで、センターの機能も高まりました。また、行政と私たちが連携し、支援を柔軟に行っていることも長岡の協働の特徴です。長岡の強みを活かし、みなさんのチャレンジ精神に寄り添える場所でありたいです。

ながおか市民協働センター長
渡辺 美子さん

センターができる前から、地域のコミュニティ活動に取り組む。長岡の“市民協働の育ての親”と呼ばれる。